

人手不足・社員の定着でお悩みの事業主様！

人事評価もRPAにお任せ

～時短・生産性を向上させる工夫～

①

半期に1回、部下の人事評価を行っているのですが、考えなきゃいけないことが想像以上に多くて、全く進んでいないんです。

私自身の仕事もあるのに

人を評価することは非常に難しいですよ。

②

そうなんです。評価項目は各人の売上はもちろんですが、勤怠、貢献度など多岐に渡っているんです。それらをひとつひとつ、突き合わせてランク付けを行うのですが、悩ましい。

それらをひとまとまりにすると効率的になりそうですね。

本当はみんなにA評価をつけたいけど

③

AIを活用し、業務を効率化・自動化するRPA[◇]をご存知ですか。RPAを活用することで、勤怠や売上などの様々なデータをあっという間に一つにまとめることが可能となります。評価者は一つのグラフを見るだけで最終的な評価が行えるようになるので、評価者の負担が減るのではないのでしょうか。

そんなことか

導入には、助成金も活用しましょう

④

RPAを導入したところ、RPAは様々な評価項目をそれぞれのシステムから抽出し、見やすいグラフにまとめることまで自動でやってくれることから、適切に、そしてスムーズに部下の人事評価を行えるようになりました。

客観的に評価される！

RPAにより、人事評価も簡単に！精神的ストレスからも解放！

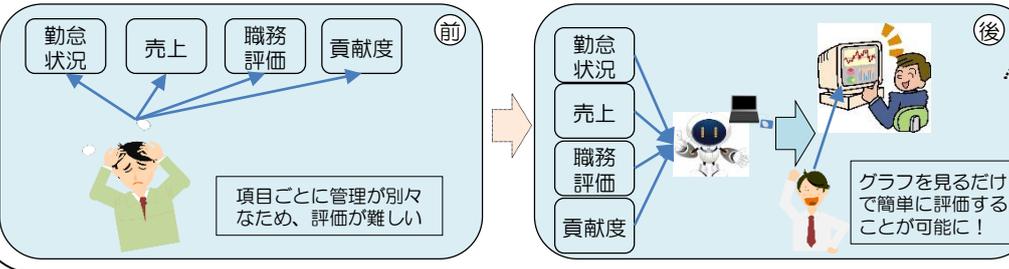
◇：「Robotic Process Automation」の略。設定した処理内容（シナリオ）に従って定型業務を自動処理し、業務生産性を高める仕組みのこと。

取組事例紹介

業種：製造業 従業員数：80名

従業員の評価を行う際、その従業員の勤怠状況・売上・職務評価及び貢献度など様々な評価項目があり、また、それぞれが別の記録や帳簿で管理されていた。評価者はそれぞれの記録を突き合わせて各人の評価を行う必要があり、評価者の業務負担となっていた。

<RPAを活用した人事評価システムの導入>



【人事評価システム導入費用を助成】

- 働き方改革推進支援助成金
- <労働時間短縮・年休促進支援コース>
- 助成率 75%
- (一定要件の場合、80%)
- 上限額 最大200万円
- (一定要件の場合、最大440万円)

◆助成金等には成果目標の達成状況等、一定の要件があります。

- ・RPAは様々な評価項目をひとつのグラフに分かりやすくまとめてくれることから、評価者はそのグラフを見るだけで、従業員の評価が行えるようになった。
- その結果、評価者（管理監督者ではない）の労働時間が削減されたことにより、36協定の上限を引き下げた。
- ・RPAで作成したグラフは機械的に抽出されたものであることから、基準が明確になり、適正な評価につながった。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

詳しくは当センター特設サイトへアクセス ▶

愛知働き方改革推進支援センター

検索



QRコードでもアクセス可能です！

愛知働き方改革推進支援センター【令和3年度 厚生労働省・愛知労働局委託事業】

相談窓口：名古屋市千種区千種通7-25-1 サンライズ千種3階（タスクール内）

☎ 0120-006-802

※受付日時：月～金曜日（祝日等を除く）午前9時～午後5時

✉ aichi@task-work.com